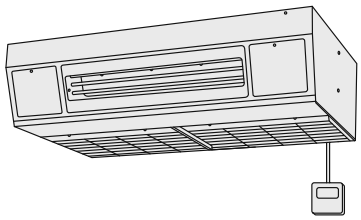
Panasonic

取扱説明書

パッケージエアコン<オフィス・店舗用エアコン>



室内ユニット

高温吸込み対応天吊形厨房用エアコン
（CS-VK7B シリーズ）
品番
CS-P112VK7B
CS-P140VK7B
CS-P160VK7B

室外ユニット

XEPHY Premium（ハイグレードタイプ）
XEPHY Eco（高効率タイプ）

取扱説明書（詳細版）をダウンロードできます。
QR コードから代表機種（CS-P112VK7B）のページにアクセスします。
https://www2.panasonic.biz/scvb/a2A/top.G01
「品番・品名・キーワード」欄に「CS-P112VK7B」と入力し取扱説明書をダウンロードしてください。

QR コードは、株式会社デンソーウェーブの登録商標です。
取扱説明書（詳細版）はリモコン CZ-10RT5 シリーズの他にリモコン CZ-10RT4C を使用した場合の操作説明を追加しています。

保証書・据付工事説明書 別添付

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、
まことにありがとうございます。

もくじ　ページ

●安全上のご注意 …… 2
●ご使用の前にご確認ください … 4
●各部の名前 …… 5

●運転のしかた …… 10
設定温度・運転モード・風速
●便利な機能 …… 12
切 / 入タイマー運転

●お手入れのしかた …… 13
フィルターの交換時期と交換のしかた
日常のお手入れ
シーズンの終わり・始まり
フィルターサインについて

●故障かな？ …… 16
●運転のしくみ …… 18
●仕　様 …… 19
●保証とアフターサービス …… 20
●冷媒漏えい点検のお願い …… 20
●主要部品の点検と保全周期の目安について …… 21
●ご確認ください …… 裏表紙

●取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
●本書は室内ユニット専用の取扱説明書です。リモコンに付属の取扱説明書とあわせてお読みください。
●**ご使用前に「安全上のご注意」（2, 3 ページ）を必ずお読みください。**
●保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書、据付工事説明書とともに大切に保管してください。
●商品の品番は、仕様（19 ページ）でご確認ください。

フロン排出抑制法　第一種特定製品	
フロンの見える化	この製品には冷媒として、HFC が使われています。 1）フロン類をみだりに大気中に放出することは禁じられています。 2）この製品を廃棄・整備する場合には、フロン類の回収が必要です。 冷媒未回収の機器は引渡し禁止です。 3）冷媒の数量は、本ユニットが接続されている室外ユニットや接続室内ユニット台数、配管長等により異なります。 システム全体での数量は、室外ユニットに記載されています。 4）使用しているフロン類の地球温暖化係数は、675 です。

安全上のご注意 必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

警告 「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。	**注意** 「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

してはいけない内容（禁止事項）です。	実行しなければならない内容（強制事項）です。

警告

据え付けや移動・修理完了時には、販売店またはサービス会社や専門業者に次のことを確認する

必ず守る

- 関連法規に従って漏電しゃ断器が設置されていること。（感電や火災の原因）
- エアコン専用の電源が使われていること。（発煙・発火・感電の原因）
- 冷媒が漏れていないこと。（冷媒が火気に触れると有毒ガス発生や火災の原因）
  通常使用では漏れませんが、冷えない・暖まらない場合は、漏れている可能性があるため、販売店またはサービス会社へご相談ください。
- 指定冷媒を使用していること。（指定以外の冷媒を使用すると、機器の故障や破裂、けがなどの原因）
- アースが設置されていること。（感電の原因）
- 小部屋などに据え付けられている場合は、開口部や換気扇が取り付けられていること。（冷媒が漏れて限界濃度を超えると酸欠事故の原因）
- 部屋のレイアウト、間仕切りを変更するときは、部屋毎の冷媒漏えい時最大濃度を超えないこと。（冷媒が漏れて最大濃度を超えると火災の原因）

別売品は必ず当社指定の製品を！

必ず守る

（水漏れや感電・火災の原因）
別売品の取り付けは、専門業者に依頼してください。

お手入れ時は

禁止

- お客様自身で、内部の洗浄はしない。（水漏れや発煙・発火の原因）

異常・故障時には直ちに使用を中止し、配線用しゃ断器（ブレーカー）を切る

必ず守る

異常・故障例
- スイッチを入れても運転しない。
- 運転中にこげ臭いにおいがしたり、異常な音がする。
- 配線用しゃ断器（ブレーカー）がたびたび切れる。
- 本体が変形したり、異常に熱い。

すぐに、販売店またはサービス会社へ点検・修理を依頼してください。
（発煙・発火・感電の原因）

据え付けや移動・修理は

必ず守る

- 必ず販売店またはサービス会社や専門業者に依頼する。（水漏れや感電・火災の原因）

冷媒が漏れているおそれのあるときは

禁止

- ファンヒーターやストーブ・コンロなどの燃焼器具を使用しない。（冷媒が火気に触れると有毒ガス発生や火災の原因）

部屋の換気を行い、販売店またはサービス会社に点検を依頼してください。

⚠警告

禁止

冷やし過ぎ（暖め過ぎ）ない

●長時間、冷風（温風）を体に直接当てない・冷やし過ぎ（暖め過ぎ）ない。
（体調悪化・健康障害の原因）

禁止

本体やリモコンは

●ぬれた手で操作しない。
（感電や故障の原因）

禁止

室内・室外ユニットは

●吹出口に指や棒などを入れない。
（内部でファンが高速回転しているため、けがの原因）

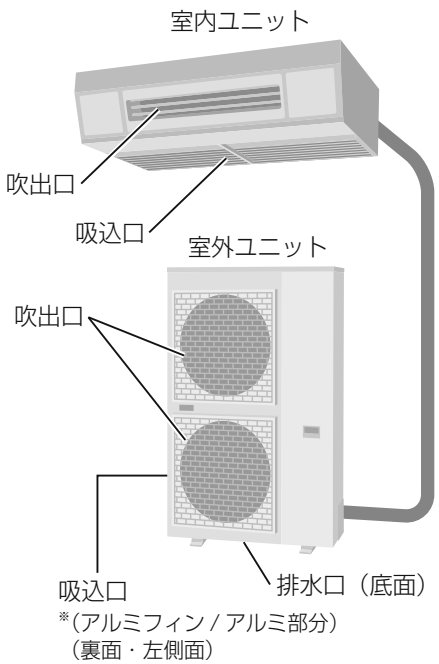
●室外ユニットは上に乗ったり、物を載せたりしない。
（落下・転落によるけがの原因）

禁止

改造・改修は絶対にしない

（修理に不備があると、水漏れや感電・火災の原因）

修理は必ず販売店またはサービス会社にご相談ください。



※（アルミフィン / アルミ部分）
（裏面・左側面）

⚠注意

禁止

室内ユニットは

●吸込口やアルミフィンに触らない。
（けがの原因）

●室内ユニットの真下や近くに、他の電気製品や家財・備品などを置かない。
（水滴が落ちて、汚損や故障の原因）

●風を動植物に直接当てない。
（動植物に悪影響をおよぼす原因）

●可燃性スプレー（ヘアスプレーや殺虫剤など）を直接吹きかけない。エアコンの近くに置かない。
（発火の原因）

●他の目的に使用しない。
食品・動植物・精密機器・美術品の保存など特殊用途に使用しない。（品質低下の原因）

禁止

ドレンは排水を確実にし、排水口をふさがない

（屋内に水漏れして、備品などの汚損の原因）

禁止

リモコンは絶対に分解しない

（感電や故障の原因）

禁止

室外ユニットは

●吸込口やアルミフィン※に触らない。
（けがの原因）

●室外ユニットの上に水の入った容器を置かない。
（漏電による感電や発火の原因）

お手入れ時は

必ず守る

●必ず運転（内部クリーン運転または内部乾燥運転を含む）を停止し、配線用しゃ断器（ブレーカー）を切る。
（感電や、ファンが高速回転しているためけがの原因）

●高所作業をするときは足場に気をつける。
（落下・転倒によるけがの原因）

禁止

●室内ユニットに洗剤スプレーや水をかけない。（電気ショートにより感電や発火の原因）

必ず守る

燃焼器具といっしょに運転するときは

●こまめに換気する。
（酸素不足による頭痛などの原因）

●エアコンの風が直接当たらない場所で使用する。
（燃焼器具の不完全燃焼による酸欠の原因）

必ず守る

可燃性ガスの漏れや揮発性引火物を取り扱う場所に設置されていないことを確認する

（可燃物や引火性ガスへの引火による火災の原因）

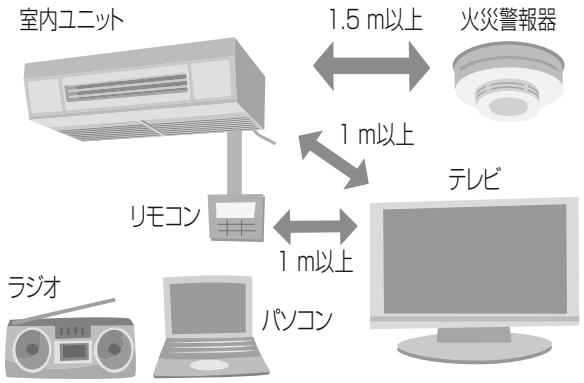
ご使用の前にご確認ください

■テレビやラジオ、パソコンなどは、
室内ユニットやリモコンから 1 m以上離す
（映像の乱れや雑音が入るおそれ）

■火災警報器は、吹出口から 1.5 m以上離す
（火災警報器の誤動作のおそれ）

■室内ユニットの近くで暖房器具を使用しない
室内ユニットのプラスチック部分が熱により変形、変色することがあります。

■サービススペースについて
エアコンが正しく機能するため、または定期的な点検を行うために壁や障害物等から距離が必要です。
寸法等の詳細は、室内ユニットに添付の「据付工事説明書」をご確認ください。



■室外ユニットの吹出口や吸込口の近くに障害物を置かない
（機能低下や騒音の原因）

■運転音にもご配慮を
設置には、次のような場所をお選びください。
- エアコンの重量に十分耐え、運転音や振動が増大しないようなところ。
- 室外ユニットの吹出口からの温風や運転音が、隣家の迷惑にならないようなところ。

■降雪が予想される地域では、室外ユニットに防雪ダクト・防風板（別売品）、もしくは雪よけの屋根や囲いなどを取り付ける
→詳しくは、お買い上げの販売店にご相談ください。
→室外ユニットが雪で埋もれないよう除雪が必要です。
※室外ユニット底板の下面がふさがれると、ドレン水が排出されず故障の原因となります。

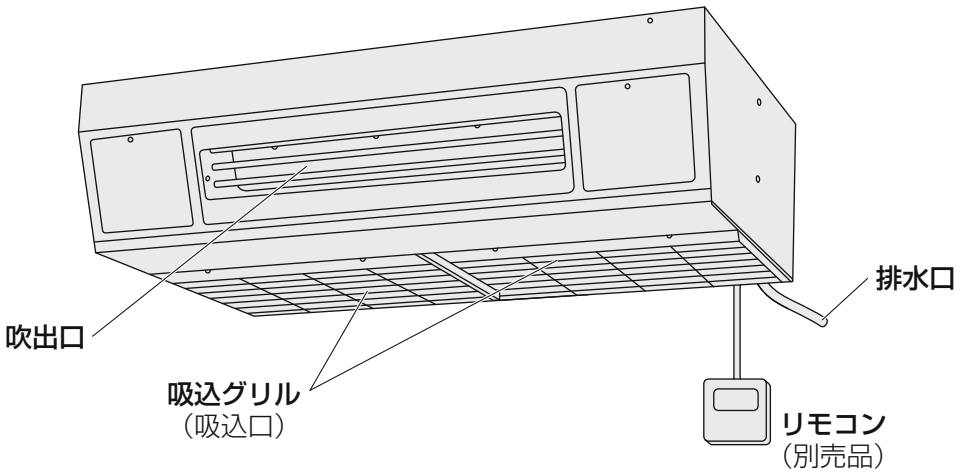
■次のような場所での使用は避ける
- 周囲に可燃性ガスが漏れるおそれがある。
- 漏れた冷媒が滞留するおそれがある。
- 温泉地帯など、硫黄ガスが発生する。
- 油や粉、水蒸気等が直接吸い込まれる。
- 電圧変動が大きい。
- 電磁波を発生する機械がある。
- 有機溶剤が飛散する。

■潮風が直接当たる海浜では、耐重塩害仕様の室外ユニットを使用する

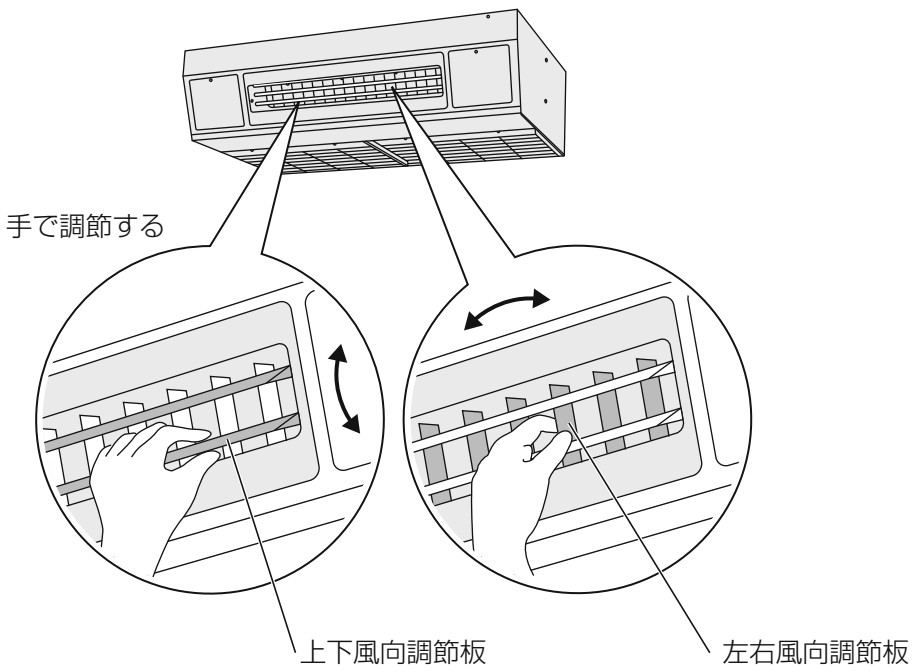
各部の名前

室内ユニット

■ 高温吸込み対応天吊形厨房用エアコン
CS-VK7B シリーズ



• 上下風向調節板、左右風向調節板は手で調節してください。
吹出口にある上下風向調節板、左右風向調節板を 1 枚ずつ動かして調節してください。



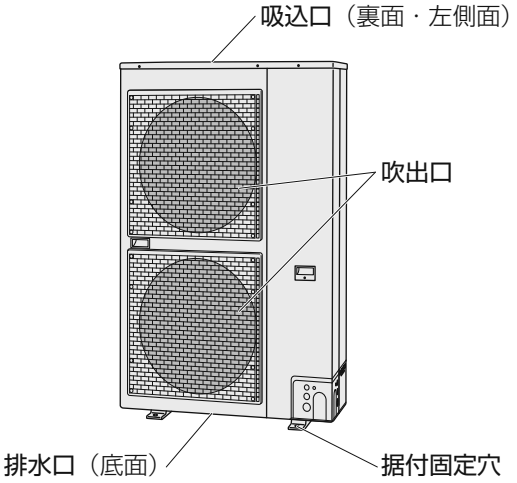
お願い
• 暖気は上に、冷気は下にたまります。風向は、暖房時は下向きに、冷房やドライ時は上向きにしてください。
（冷房やドライ時に下向きにすると、吹出口に露が付き、滴下の原因）
• 冷温風が火気や調理台に直接当たり、調理に影響するようなときには風向を変えてください。

各部の名前

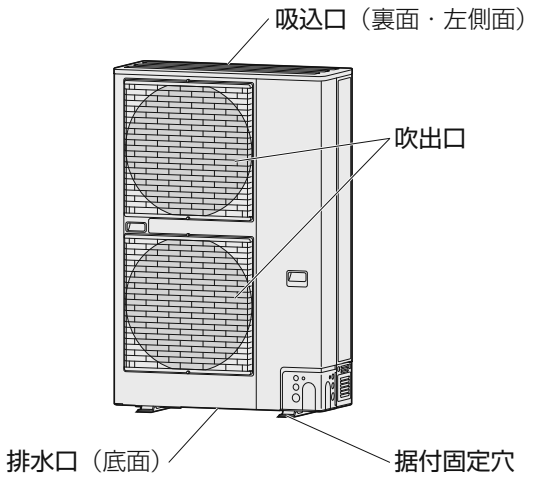
室外ユニット

■XEPHY Premium（ハイグレードタイプ）

●112、140、160 形

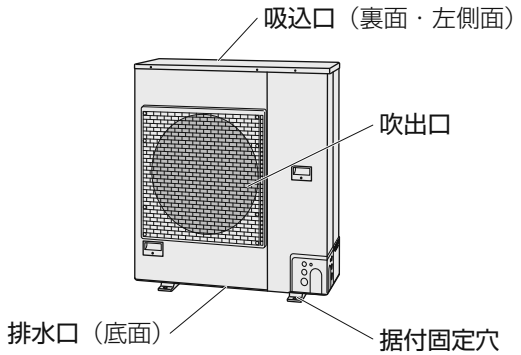


●224、280 形

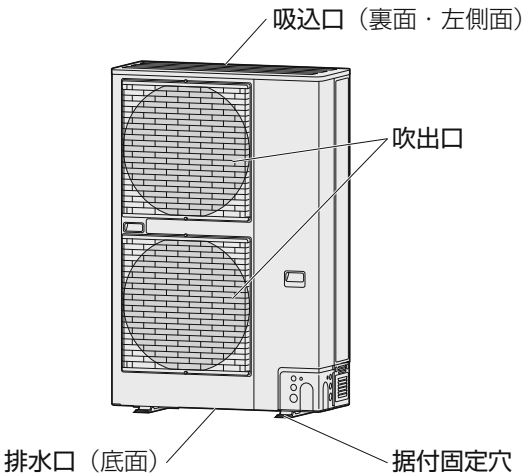


■XEPHY Eco（高効率タイプ）

●112、140、160 形

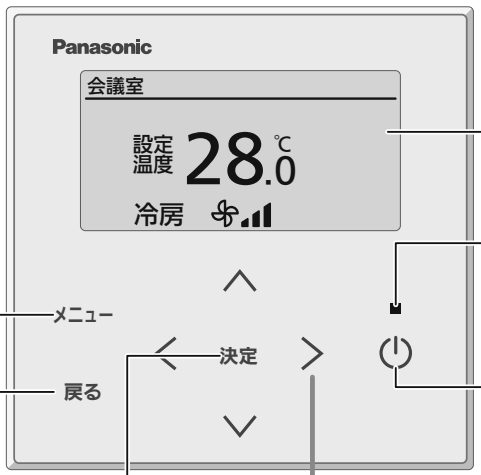


●224、280 形



多機能ワイヤードリモコン（別売品：CZ-10RT5 シリーズ）

メニューボタン
メニュー画面を出します（8 ページ）
・（メニュー画面から）トップ画面に戻します
・（メニュー画面より下の階層の画面から）メニュー画面に戻します



液晶画面

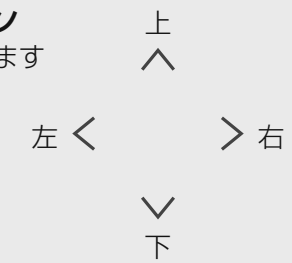
運転表示ランプ
運転時、点灯します（緑）
警報時、点滅します（緑）

運転 / 停止ボタン
運転を始めます / 止めます

戻るボタン
1 つ前の画面に戻します

決定ボタン
選んだ内容を決定します

十字ボタン
項目を選びます



お知らせ
- ●操作は、ボタンの中央付近を押してください。
- ●手袋を着けた状態では、操作できません。
- ●スタイラスペン、タッチペン等では、操作できません。
- ●操作ボタンが汚れている場合は、汚れをふき取ってください。
  （日常のお手入れ 14ページ）

トップ画面

トップ画面は、簡易、標準（出荷時設定）、詳細の 3 つのモードから選べます。
下記の画面は標準モードにおけるトップ画面です。
詳細は多機能ワイヤードリモコン（CZ-10RT5 シリーズ）の取扱説明書をご覧ください。

除霜中
暖房運転を一時的に止めて霜を融かす霜取り運転を行うときに表示されます。

リモコン名称

設定情報アイコン
設定状況によりアイコンの数と表示位置は変わります。

空気質情報
室温、湿度または CO_2 濃度の空気質情報を表示します。
※湿度、CO_2 濃度は IAQ センサー（別売品）接続時に表示できます。

暖房準備中
室内ユニットがすぐに温風を吹き出せないときに表示されます。

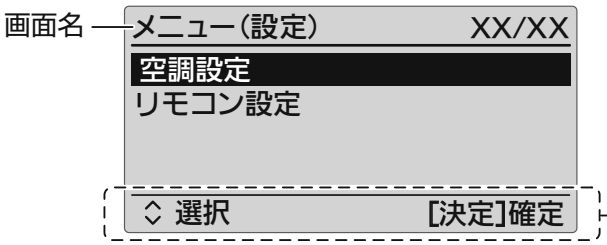
運転モード　設定温度　風速

各部の名前

メニュー画面

■空調機のみが接続されているとき

トップ画面から **メニュー** を押す
下記の設定画面へ移動します。

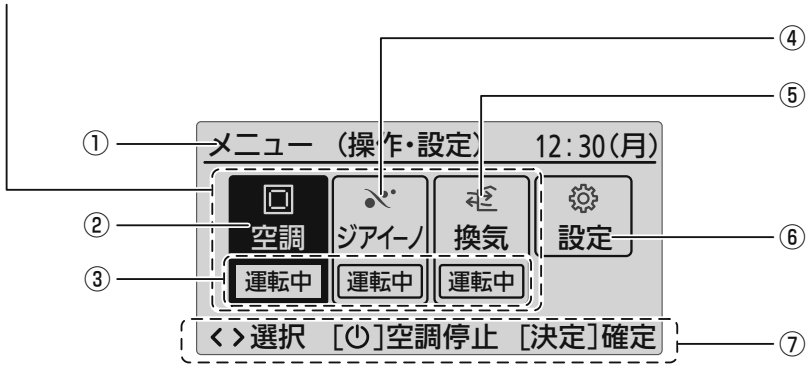


・現在操作できる内容が表示されます。
◇ 選択：設定項目を選びます。
[決定]確定：決定します。

■空調機、ジアイーノ、換気が接続されているとき

空調機とジアイーノまたは換気、もしくは両方接続されている場合、トップ画面で **メニュー** を押すと、機器を操作・設定するためのメニュー画面が表示されます。

※接続されていない機器は表示されません。



（例）空調機を選んでいるとき

① 画面名

② 空調
- 空調機の運転 / 停止を設定します。

③ 機器の状態表示
- 運転中 / 停止中 / 警報中（⚠）、点検中（❗）のいずれかが表示されます。

④ ジアイーノ
- ジアイーノの運転 / 停止を設定します。

⑤ 換気
- 換気の運転 / 停止を設定します。

⑥ 設定
- 接続されている機器を設定するメニュー（設定）画面に移動します。

⑦ リモコン操作ガイド
- 現在操作できる内容が表示されます。

<>選択：接続されている機器、設定を選びます。
[⏻]空調停止：選んだ機器を運転 / 停止します。
[決定]確定：接続機器の運転のしかたや設定内容の画面に移動します。

インフォメーション画面

トップ画面で ＜ を押すと、インフォメーション画面が表示され、設定情報アイコンを確認することができます。

※警報 / 点検が発生している場合は、＜ または 決定 を押すと、インフォメーション画面よりも先に警報 / 点検の画面が表示されます。

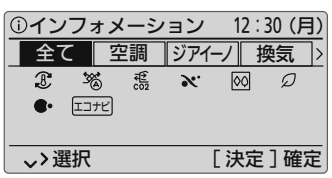
1 インフォメーション画面を表示する

＜ を押す

● 現在設定しているアイコンが表示されます。

2 機器を選ぶ

＜ ＞ を押す



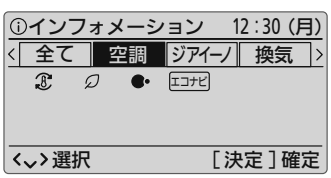
● 接続されていない機器は、表示されません。

（例）空調機の設定情報アイコンを確認するとき

空調機のアイコン情報にカーソルを移動させ、

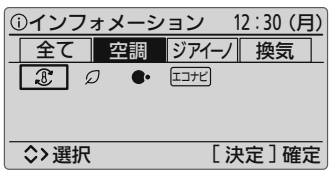
∨ または 決定 を押す

（空調機を選択した例）



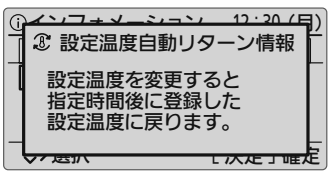
3 アイコンを選ぶ

∧ ∨ ＜ ＞ で選び、決定 を押す



4 アイコンの説明を確認する

（アイコンの説明例）



● トップ画面に戻るには、戻る を 3 回押してください。

お知らせ

● すべての設定情報アイコンと詳細については多機能ワイヤードリモコン（CZ-10RT5 シリーズ）の取扱説明書をご覧ください。

運転のしかた

設定温度・運転モード・風速

運転開始の 12 時間以上前に配線用しゃ断器（ブレーカー）を入れる。（本体保護のため）

1 運転を始める（運転表示ランプ点灯）
⏻ を押す

設定温度→運転モード→風速
の順で変更します。

設定温度
を変えるとき

冷房や暖房など
運転モード
を変えるとき

風　速
を変えるとき

■止めるとき
⏻ を押す（運転表示ランプ消灯）

お知らせ
- 設定できない運転モードは表示されません。
- しばらくするとバックライトが消えます。（節電のため）
  何かのボタンを押すとバックライトが点灯します。
- 停電の後、通電後に ⏻ を押すと、停電前の内容で運転を再開します。

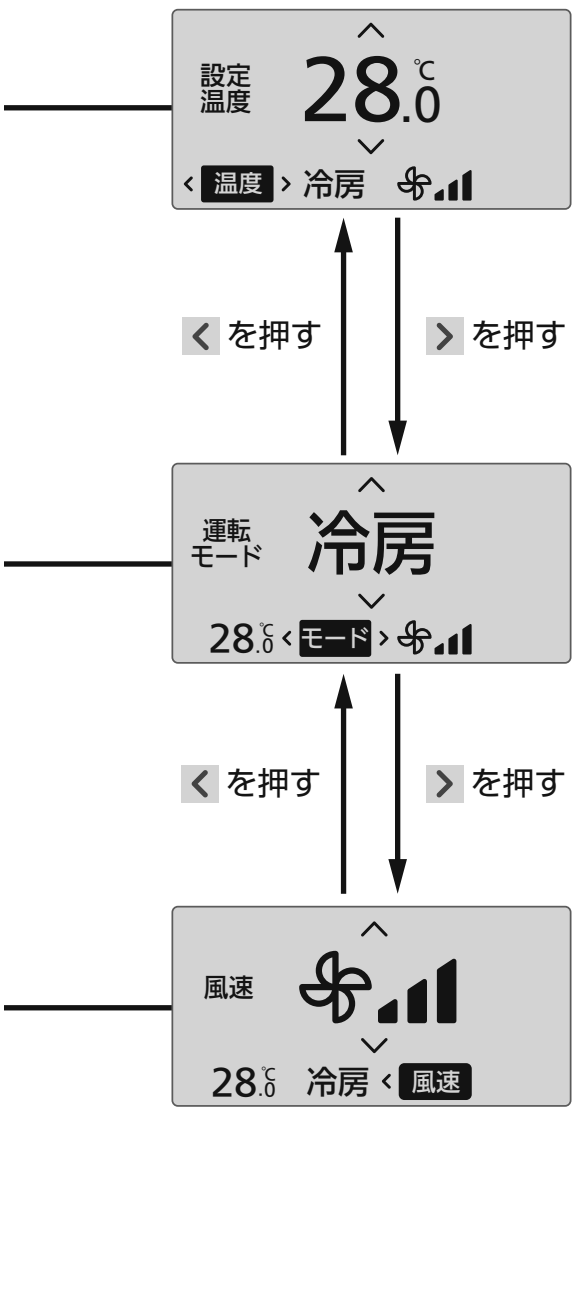
＜設定温度について＞
- 設定温度は室内ユニットの吸込口付近の温度（目安）です。据付状態によって、室温とは多少異なります。

＜風速について＞
- 暖房時、運転開始から設定した風速になるまでに時間がかかることがあります。（18 ページ）
  （吹出温度などの運転状況に応じて室内ユニットの風速は自動で切り替わり、リモコン表示とは異なる場合があります。）
- ドライ時は、設定温度に近づくと自動で微風になります。（18 ページ）

＜結露・霧吹きについて＞
- 冷房およびドライ運転は、湿度の高い梅雨などに長時間運転を行うなど、条件によっては、結露水の滴下や霧が吹き出すことがあります。

2 設定する項目を選ぶ

〈 〉 または
決定 を押す



設定温度を選ぶ（0.5℃単位）
冷房・ドライ　：18℃～ 30℃
暖房　　：16℃～ 30℃
冷暖自動　　：17℃～ 27℃

暖房
ドライ
冷房
送風
冷暖自動

※ 冷暖自動：
設定温度になるよう、自動で冷房 / 暖房を切り替えます。
運転モードにカーソルがないときは「自動」と表示されます。

※ （自動）：送風時は選べません。
※本商品は風向は選べません。

3 設定を変える

〈 〉を押す
決定 または 戻る を押すと
トップ画面に戻ります。

便利な機能

切／入タイマー運転

■切タイマーの使用例

朝までつけっぱなし…を防いで、
ムダをカット！

午前3時に運転を停止したい。

■入タイマーの使用例

会議開始の時間に合わせて、
エアコンをオン！

午後1時に運転を開始したい。
※運転中に設定すると停止します。

1 メニュー を押す（メニュー（操作・設定）画面表示）
空調機のみが接続されている場合は手順②へ（手順①の画面は表示されません。）
「設定」を選ぶ

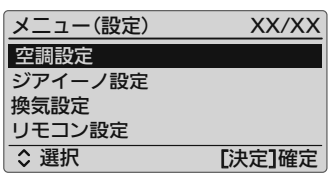
〈 〉 → 決定 を押す

■ 1 つ前の画面に戻るとき
戻る を押す

■ トップ画面に戻るとき
メニュー

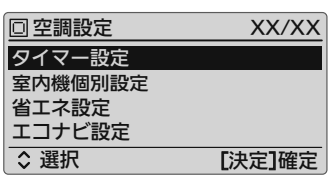
2 「空調設定」を選ぶ

∧ ∨ → 決定 を押す



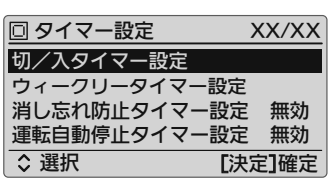
3 「タイマー設定」を選ぶ

∧ ∨ → 決定 を押す



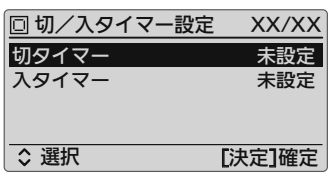
4 「切 / 入タイマー設定」を選ぶ

∧ ∨ → 決定 を押す



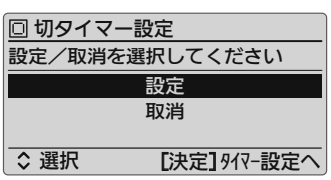
5 タイマーの種類を選ぶ

∧ ∨ → 決定 を押す

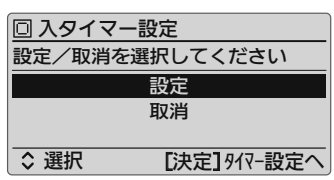


6 「設定」を選ぶ

∧ ∨ → 決定 を押す



（切タイマーを選んだとき）

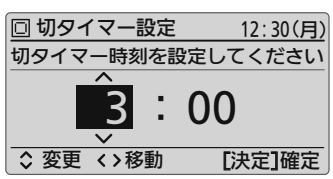


（入タイマーを選んだとき）

■ タイマーをオフにするとき
「取消」を選ぶ

7 時刻を設定する

∧ ∨ (時)→ 〉 → ∧ ∨ (分)→ 決定 を押す



- 時（0 ～ 23）：1 時間単位
- 分（00 ～ 55）：5 分単位

お知らせ
- 切／入タイマーを同じ時間に設定すると、切タイマーが優先され、入タイマーは使用できません。
- 運転中に入タイマーを設定すると、運転は停止します。

お手入れのしかた

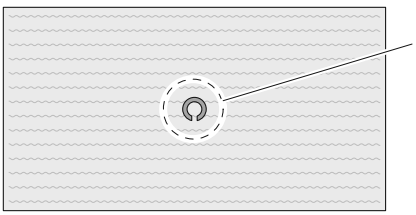
⚠ 注意　必ず運転を停止し、配線用しゃ断器（ブレーカー）を切る。
（感電や、ファンが高速回転しているため、けがの原因）

フィルターの交換時期と交換のしかた

■ 交換時期は、

リモコンにフィルターサイン“▦”が表示されたときは目づまり等による交換が必要かどうか確認してください。
フィルターの交換後は、フィルターサインのリセットを行ってください。（15 ページ）

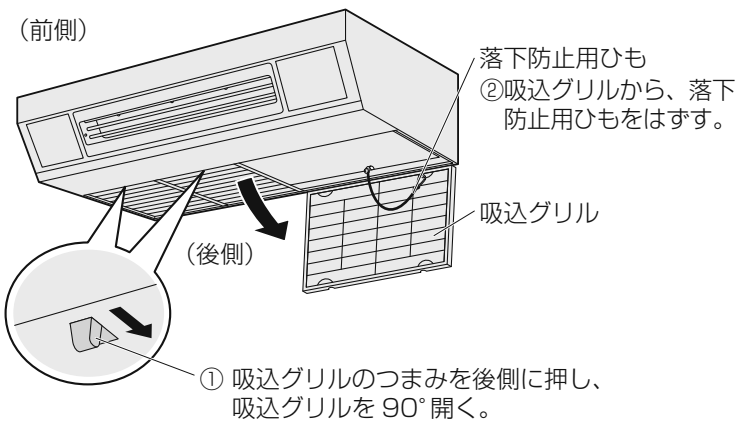
フィルターサイン“▦”表示に関係なく、フィルターのフィルター交換サイン“ ”（黄色のマーク）が見えなくなったときに交換してください。

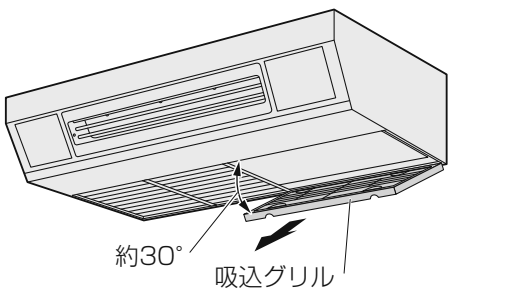


フィルター交換サイン“ ”に近い色に変色しましたら、フィルターの交換をお願いします。

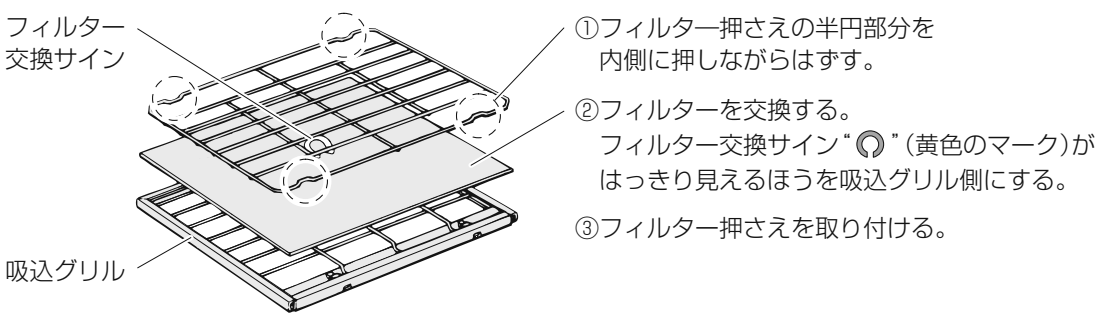
■ 交換のしかた

• 吸込グリルの取りはずしかた





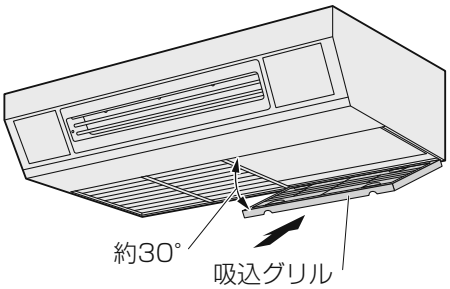
• フィルターを交換する
初回は付属の交換用フィルターをご使用ください。



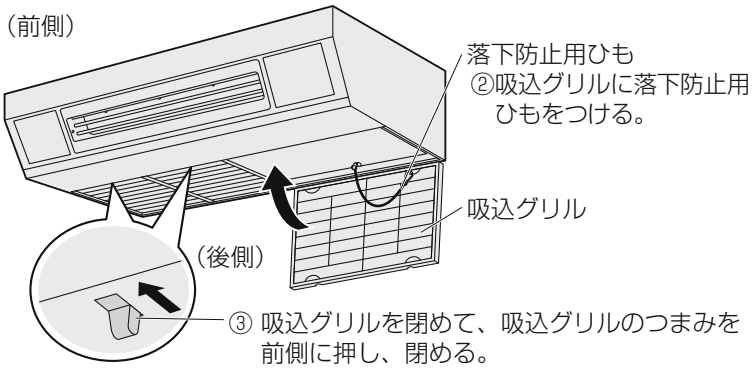
お願い
● フィルター交換後は、必ず吸込グリルに落下防止用ひもを取り付けてください。
（落下によるけがの原因）

お手入れのしかた

• 吸込グリルの取りつけかた



① 吸込グリルはユニットから約 30°の角度をつけて、ユニットの奥側に取りつけ、90°開いた状態にする。



③ 吸込グリルを閉めて、吸込グリルのつまみを前側に押し、閉める。

日常のお手入れ

■フィルターを確認する

フィルター交換サイン“ ”（黄色のマーク）が見えない場合は交換してください。

（交換のしかた　13 ページ）
（取りつけかた　14 ページ）

• 水洗い等はできません。

別売品

2 回目以降は、お買い上げの販売店でお買い求めください。

交換用フィルター（50 枚入）	品番
P112 形用	SPW-KF71
P140・160 形用	SPW-KF125

お願い

• **吸込グリルとフィルター押さえの汚れがひどいとき**
薄めた中性洗剤でつけ置き洗いをし、十分に乾かしてください。

• **室内ユニット内部（熱交換器）の洗浄**
年に 2 回程度、お買い上げの販売店にご依頼ください。（ご使用環境により汚れ度合は変わるため、頻度は販売店とご相談ください。）

■室内ユニットやリモコンは、柔らかい布でからぶきする

• 汚れがひどい場合は、布に水またはぬるま湯を含ませ、よくしぼってからふいてください。その後乾いた布でふいてください。

お願い

●**40℃以上のお湯を使わないでください。**
（変形や変色の原因）

●**揮発性のものなどは使わないでください。**
アルコール消毒液、ガソリンやベンジン、シンナー、磨き粉などでふいたり、市販の液状殺虫剤、消毒スプレーなどをかけない。
（変形や変色の原因）

シーズンの終わり

1 晴れた日に、半日ほど送風運転をし、ユニット内部を乾燥させる
（10、11 ページ）

2 運転停止を確認し、配線用しゃ断器（ブレーカー）を切る
• 電源が入ったままだと、電力を消費します。
• 電源が切れると、多機能ワイヤードリモコン表示部の仕切り線が消えます。

3 フィルターを確認する
フィルター交換サイン“ ”（黄色のマーク）が見えない場合は交換してください。
（交換のしかた　13 ページ）
（取りつけかた　14 ページ）

シーズンの始まり

1 フィルターを確認する
フィルター交換サイン“ ”（黄色のマーク）が見えない場合は交換してください。
（交換のしかた　13 ページ）
（取りつけかた　14 ページ）

2 配線用しゃ断器（ブレーカー）を入れる
• 必ず運転をする 12 時間以上前に入れてください。（本体保護のため）
• シーズン中は、配線用しゃ断器（ブレーカー）を切らないでください。

フィルターサインについて（運転時間確認とリセット）

■ エアフィルターのお手入れ時期になるとリモコン表示部にフィルターサイン“▦”が表示されます。
エアフィルターのお手入れ後（13、14ページ）は、フィルターサインのリセットを行ってください。
ほこりや油汚れの多い環境では、表示に関係なく、こまめにお手入れしてください。

1 メニュー を押す（メニュー（操作・設定）画面表示）

空調機のみが接続されている場合は手順②へ（手順①の画面は表示されません。）

「設定」を選ぶ

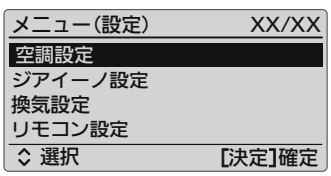
＜ ＞ → 決定 を押す

■ 1つ前の画面に戻るとき
戻る を押す

■ トップ画面に戻るとき
メニュー を押す

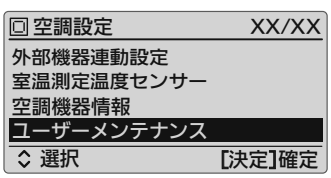
2 「空調設定」を選ぶ

∧ ∨ → 決定 を押す



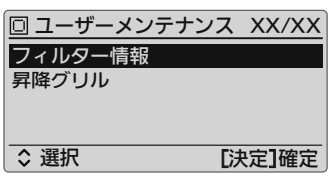
3 「ユーザーメンテナンス」を選ぶ

∧ ∨ → 決定 を押す



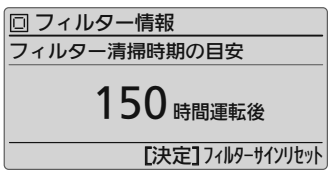
4 「フィルター情報」を選ぶ

∧ ∨ → 決定 を押す



5

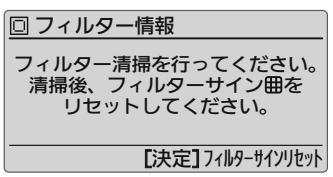
1. 清掃までの運転時間を確認するとき



清掃までの運転時間を確認後、メニュー を２回押すとトップ画面に戻ります。

2. すぐに清掃して、フィルターサインをリセットするとき

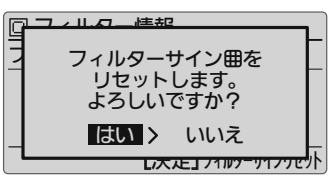
すぐに清掃が必要なときは下記の画面が表示されますので、すみやかに清掃してください。



① 13、14ページを参照して、フィルターを清掃する。清掃後、 決定 を押す

② フィルターサインリセットをする
＜ ＞ →「はい」を選ぶ→ 決定 を 押す

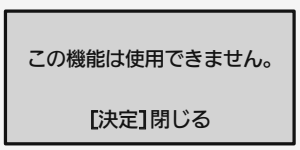
● フィルター清掃からの時間のカウントが、リセットされます。



■ フィルターサインをリセットしないときは
戻る を押す

お知らせ

● 機能が付いていない場合は、次のような表示が出て使用できません。



● フィルターの清掃時期になると、トップ画面にアイコンが表示されます。

故障かな？

お問い合わせや修理を依頼される前に、まずご確認ください。

室内ユニット

症状		原因・対応	ページ
運転しない		●配線用しゃ断器（ブレーカー）が切れていませんか？ →トリップ位置（中間で止まっている）の場合は、電源を入れずに販売店にご連絡ください。（漏電を検知しています。） →完全に切れている場合は、安全確認をしてから入れてください。	—
よく冷えない よく暖まらない		●室内・室外ユニットの吸込口や吹出口のまわりを障害物でふさいでいませんか？ →障害物を取り除いてください。	—
		●風速設定を変えてください。	10
		●フィルターが目づまりしていませんか？ →フィルターを交換してください。	13
音がする	水が流れるような音がする	●エアコン内部に冷媒が流れている音です。	—
	「ピシピシ」という音がする	●部品が温度変化により伸縮するためです。	—
吹き出した風がにおう		●部屋のにおいやタバコ、化粧品などのにおいがエアコン内部に付着し、吹き出すためです。 →お買い上げの販売店にご相談ください。	—
冷房運転中、吹出口付近に露がつく		●空気中の水分が冷風で冷やされ、付着するためです。	—
霧が出る	冷房運転中、白い霧が出る	●油類を多く吸い込み、室内ユニット内部が汚れているためです。（油類の汚れに強い室内ユニットですが、ご使用環境により汚れ度合いが大きくなる場合があります。） →お買い上げの販売店にご相談ください。	—
	暖房運転中、白い霧が出る	●霜取運転中、まれに室内ユニットから白い霧が出ることがあります。	—
運転停止後もファンが止まらず回り続ける		●室内ユニット内部（熱交換器）を乾燥させるため、しばらく回り続けることがあります。	—
風速が勝手に変わる		●室内外の状況や設定温度、設定風速によって、風速が変わることがあります。	10
運転開始時、風がすぐに出ない		●運転停止直後は再運転までに時間がかかります。 →しばらくお待ちください。	—

	症状	原因・対応	ページ
室外ユニット	運転停止後、すぐに運転 / 停止ボタンを押しても再運転しない	●圧縮機を保護する回路が働き、約 3 分間は運転しません。	—
	暖房運転中、「ブシュン」という音がする	●霜取運転を行っているためです。	18
	暖房運転中、湯気が出る	●霜取運転を行っているためです。	18
	リモコンで運転停止後もファンが回り続ける	●円滑に次回の運転を行うための動作です。	—
リモコン	操作ボタンの反応がよくない 操作をしていないのにピー音がする 操作ボタンとは違う動作になる	●操作ボタンが汚れていませんか？ →汚れをふき取ってください。 ●操作ボタンの表面がぬれていませんか？ 表面がぬれているとセンサーが押していると誤った感知をします。 →乾いた布でふき取り、再度操作してください。	14
	風速 が表示されない	●風速 に対応しないリモコンを接続していませんか？ →お買い上げの販売店にご相談ください。	—
		●設定の変更が必要です。 →お買い上げの販売店にご相談ください。	—

● 以上のことをご確認いただき、なお異常のあるときは運転を停止してから配線用しゃ断器（ブレーカー）を切り、お買い上げの販売店に品番と症状をご連絡ください。

・多機能ワイヤードリモコン表示部に次の警報表示が表示された場合は、一度運転を停止し、約 1 分後に再運転してください。
[・E04　・E06　・P10　・P20　・H06]
（警報表示が消灯した場合は、そのまま使用できます）
再度、表示されたときや、上記以外の警報表示（E、F、H、J、L、P の文字と数字の組み合わせ）が表示されたときは、その内容をお知らせください。

必要なとき

運転のしくみ

■暖房運転について

＜暖房能力について＞

- 外気の熱を利用して暖房するため、外気温度が下がるにつれ暖房能力は低下します。（ヒートポンプ方式のため）
- 暖房運転開始から暖まるまでしばらく時間がかかります。（部屋全体を暖める温風循環方式のため）

＜霜取りについて＞

長時間の暖房運転時、室外ユニットに付いた霜を溶かすために暖房を止めて霜取運転する場合があります。
リモコン表示部に「除霜中」が表示されます。
（約５分～10 分間）

＜暖房準備について＞

以下の場合、リモコン表示部に「暖房準備中」が表示されます。

- 運転開始時
- 運転中にエアコン内部温度が下がったとき

■ ドライ運転について

- 室温が設定温度に近づくと自動的に能力が下がります。
- 運転が停止するとできるだけ湿気を再びお部屋に戻さないために、室内ファンは微風運転となります。
- 設定温度に近づくと風速は自動的に微風になりますので、風速調節はできません。
- 湿度の調整はできませんので、除湿目的や湿度の調整が必要な場合は、専用の機器を選定ください。

■リモコンセンサーについて

通常は室内ユニットの温度センサーが室温を感知していますが、リモコン周辺の室温を感知させることもできます。
詳しくはお買い上げの販売店にご相談ください。
（リモコンセンサーから離れた場所に室内ユニットが設置されるグループ制御では、推奨できません。）

仕様

■ 運転条件

冷房時	外気の温度　-15℃以上　※℃以下 部屋の温度　25℃以上　45℃以下 部屋の湿度　約 80%以下
暖房時	外気の温度　-20℃以上　24℃以下 部屋の温度　30℃以下

・左記以外の条件で長時間運転すると、保護装置が働き、運転停止や故障の原因になります。
・-5℃以下で冷房運転をする場合は、室外ユニットに別売品の防風板と防雪ダクト（側面、背面）の取り付けが必要です。

※冷房時、外気の上限温度

XEPHY Premium（ハイグレードタイプ）		XEPHY Eco（高効率タイプ）
112 ～ 160 形	52℃以下	50℃以下
224、280 形	50℃以下	

室内ユニット

種類 —— 冷房・ヒートポンプ暖房兼用、分離形

●高温吸込み対応天吊形厨房用エアコン（直接吹出形）

品　番	運転音 dB（A）（音圧レベル）			製品質量（kg）
	急	強	弱	
CS-P112VK7B	45	41	38	41
CS-P140VK7B	50	47	42	55
CS-P160VK7B	50	47	42	55

●音圧レベルは、室内ユニット正面 1m・下方 1m の値です。
●急：、強：、弱：

室外ユニット

種類 —— 冷房・ヒートポンプ暖房兼用、分離形、空冷式（冷媒 R32 使用）

●XEPHY Premium（ハイグレードタイプ）

品　番	定格能力（kW）		運転音 dB（A）音圧レベル		製品質量（kg）	冷媒封入量（kg）
	冷　房	暖　房	冷房	暖房		
CU-P112G7B	10.0 (2.6 ～ 11.2)	11.2 (2.6 ～ 15.6)	51	50	102	3.55
CU-P140G7B	12.5 (2.6 ～ 14.0)	14.0 (2.6 ～ 18.0)	51	51	102	3.55
CU-P160G7B	14.0 (3.5 ～ 16.0)	16.0 (3.5 ～ 19.0)	52	51	105	3.80
CU-P224G7B	20.0 (6.2 ～ 22.4)	22.4 (5.6 ～ 28.0)	58	61	110	4.20
CU-P280G7B	25.0 (6.3 ～ 28.0)	28.0 (7.0 ～ 35.0)	60	63	119	5.20

●XEPHY Eco（高効率タイプ）

品　番	定格能力（kW）		運転音 dB（A）音圧レベル		製品質量（kg）	冷媒封入量（kg）
	冷　房	暖　房	冷房	暖房		
CU-P112H7B	10.0 (2.5 ～ 11.2)	11.2 (2.9 ～ 13.0)	53	53	66	2.10
CU-P140H7B	12.5 (3.2 ～ 14.0)	14.0 (3.5 ～ 16.0)	57	57	81	2.80
CU-P160H7B	14.0 (3.5 ～ 16.0)	16.0 (4.0 ～ 17.0)	58	59	81	2.80
CU-P224H7B	20.0 (6.2 ～ 22.4)	22.4 (5.6 ～ 28.0)	58	61	110	4.20
CU-P280H7B	25.0 (6.3 ～ 28.0)	28.0 (7.0 ～ 35.0)	60	63	119	5.20

品　番	定格能力（kW）		運転音 dB（A）音圧レベル		製品質量（kg）	冷媒封入量（kg）
	冷　房	暖　房	冷房	暖房		
CU-P112H7ZB	10.0 (2.5 ～ 11.2)	11.2 (2.9 ～ 13.0)	53	53	67	2.10
CU-P140H7ZB	12.5 (3.2 ～ 14.0)	14.0 (3.5 ～ 16.0)	57	57	82	2.80
CU-P160H7ZB	14.0 (3.5 ～ 16.0)	16.0 (4.0 ～ 17.0)	58	59	82	2.80
CU-P224H7ZB	20.0 (6.2 ～ 22.4)	22.4 (5.6 ～ 28.0)	58	61	111	4.20
CU-P280H7ZB	25.0 (6.3 ～ 28.0)	28.0 (7.0 ～ 35.0)	60	63	120	5.20

●性能・電気特性は下記条件に基づいた値です。
（冷房時：室内吸込空気温度 35℃ DB・28℃ WB, 室外吸込空気温度 35℃ DB）
（暖房時：室内吸込空気温度 10℃ DB, 室外吸込空気温度 7℃ DB·6℃ WB）
●音圧レベルは、室外ユニット正面 1m・高さ 1.5m の値です。
●能力の（ ）内は能力範囲を示します。
●室外ユニット品番末尾に J が付く場合は耐重塩害仕様を示します。

保証とアフターサービス よくお読みください

使いかた・お手入れ・修理などは

■まず、お買い上げ先へご相談ください。

▼お買い上げの際に記入されると便利です

販売店名	
電　話	（　　）　　－
お買い上げ日	年　月　日

修理を依頼されるときは

「故障かな？」（16、17ページ）でご確認のあと、直らないときは、まず配線用しゃ断器（ブレーカー）を切ってから、お買い上げ日と下の内容をご連絡ください。

●製品名	パッケージエアコン
●品 番	○○-○○○○（仕様参照）
●異常の内容	できるだけ具体的に

●保証期間中は、保証書の規定に従って出張修理いたします。 保証期間：お買い上げ日から本体1年間

●保証期間終了後は、診断をして修理できる場合はご要望により修理させていただきます。

※修理料金は次の内容で構成されています。

- 技術料 **診断・修理・調整・点検などの費用**
- 部品代 **部品および補助材料代**
- 出張料 **技術者を派遣する費用**

※補修用性能部品の保有期間 9年

当社は、このパッケージエアコンの補修用性能部品（製品の機能を維持するための部品）を、製造打ち切り後9年保有しています。

■相談先がなくお困りの場合は、裏表紙の各ご相談窓口へご相談ください。

【ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて】

パナソニック株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくときのために発信番号を通知いただいております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

お使いの冷凍空調機器の改造行為に対して
（添加剤などを注入する行為も含む）

当社およびグループ関係会社でない者が冷媒回路に熱交換器や当社指定外の部品などを増設する行為や冷媒に添加剤などを注入する行為に対し、当社およびグループ関係会社は、性能や安全性および信頼性の評価や保証およびメンテナンス等の対応を行いません。従って、これらの改造行為が実行された後の故障・誤動作などの不具合や事故について、弊社およびグループ関係会社やこれらの改造行為に関与していない販売店・工事会社は、一切その責任を負えません。

冷媒漏えい点検のお願い

■本製品を所有されているお客様へ

フロン排出抑制法に基づく点検の実施および点検結果の点検整備記録簿への記載のお願い

- 本製品は「フロン排出抑制法」に定める「第一種特定製品」です。本製品を所有されているお客様は、フロン排出抑制法に基づく点検の実施および点検結果の点検整備記録簿への記載を行ってください。
  点検整備記録簿には、機器を設置したときから廃棄するときまでのすべての履歴を記載してください。
- 廃棄・整備するときは、都道府県に登録された第1種フロン類充填回収業者にフロン類の回収を依頼してください。このときフロン類の回収処理費用は機器廃棄者に負担いただくことになっています。
- フロン排出抑制法に基づく点検、点検整備記録簿、廃棄時のフロン類の回収の詳細については、お買い上げの販売店または弊社窓口へお問い合わせ、または下記サイトをご覧ください。

一般社団法人　日本冷凍空調設備工業連合会　https://www.jarac.or.jp/
一般社団法人　日本冷凍空調工業会　https://www.jraia.or.jp/

主要部品の点検と保全周期の目安について

■「点検周期」および「保全周期」の一覧

● 保全周期は保証期間を示しているものではありませんのでご注意ください。
● 本表は主要部品を示します。詳細については保守点検契約に基づいて確認してください。
この保全期間は、製品を長く安心してご使用いただくために、保全行為が生じるまでの目安期間を示していますので、適切な保全設計（保守点検費用の予算化など）のためにお役立てください。
● 保守点検実施の場合でも予期せぬ突発的偶発故障が発生することがあります。この場合、保証期間外での故障修理は有償扱いとなります。

主　要　部　品　名	点検周期	保全周期〔交換・修理〕	主　要　部　品　名	点検周期	保全周期〔交換・修理〕
圧縮機	1 年	20,000 時間	膨張弁	1 年	20,000 時間
モーター（ファン、フラップ、ドレンポンプ用等）		20,000 時間	バルブ（電磁弁、四方弁等）		20,000 時間
			ドレンパン（注 3）		8 年
ベアリング		15,000 時間	熱交換器		5 年
			センサー（サーミスタ、圧力センサー等）		5 年
電子基板類		25,000 時間			
			冷媒センサー	-	5 年

※機種によって使用しない部品があります。

注 1. 上記の一覧表は以下のご使用条件の場合です。
①頻繁な発停のない、通常のご使用状態であること。
②製品の運転時間は、10 時間／日、2,500 時間／年と仮定しています。
注 2. 以下の項目に適合するときは、「保全周期」および「交換周期」の短縮を考慮する必要があります。
①温度・湿度の高い場所、変化の激しい場所でご使用になる場合
②電源（電圧、周波数、波形歪み等）や負荷変動が大きい場所でご使用になる場合
③振動、衝撃が多い場所に設置されてご使用になる場合
④塵埃、塩分、亜硫酸ガスおよび、硫化水素などの有害ガス・オイルミスト等が飛散する場所でご使用になる場合
注 3. 建築物における衛生的環境の確保に関する法律（建築物衛生法）の対象となる建物にご使用の場合は、定期的な点検が必要となります。

■消耗部品「交換周期」の一覧

● 交換周期は保証期間を表示しているものではありませんのでご注意ください。
● 本表は主要部品を示します。詳細については保守点検契約に基づいて確認してください。
● 交換周期は製品を長く安心してご使用いただくために、交換行為が生じるまでの目安期間を示していますので、適切な保全設計（保守点検費用の予算化など）のためにお役立てください。

主　要　部　品　名	点検周期	交換周期	主　要　部　品　名	点検周期	交換周期
ロングライフフィルター	1 年	5 年	冷媒センサー（注 4）	－	5 年
自然気化式加湿器（注 1）		3 年	ヒューズ	1 年	10 年
銀イオン系抗菌剤（注 2）		1 年	クランクケースヒーター、凍結防止ヒーター		8 年
ファンベルト（注 3）		5,000 時間			

※機種によって使用しない部品があります。

注 1. 建築物における衛生的環境の確保に関する法律（建築物衛生法）の対象となる建物にご使用の場合は、定期的な点検が必要となります。
注 2. 銀イオン系抗菌剤は消耗品です。交換周期は冷房運転下においての周期になります。
また、下記の項目に適合する場合には、交換周期の短縮を考慮する必要があります。
・温度・湿度が高い場所、あるいはその変化の激しい場所でご使用される場合
・頻繁な発停がある場合、運転時間の長い場合（２４時間空調など）
・気化式加湿器を使用される場合
※交換周期は保証期間を示しているものではありませんのでご注意ください。
注 3. ファンベルトは消耗品です。交換後、数日間運転を行ってからファンベルトの張り具合を見てください。また、1 か月に 1 回を目安にファンベルトの張り具合を見てください。ファンベルトは適正な張り具合が必要です。ファンベルトの調整は、据付工事説明書を確認してください。
注 4. スプレー類などに含まれるシロキサンの多い場所（理・美容院）では冷媒センサーが検知できなくなる可能性がありますので、定期的に交換してください。

メモ

ご確認ください

■ 試運転・引き渡し時の確認

	会社名	担当者名	実施日
据付工事 総冷媒量、冷媒漏えい時最大濃度の確認 ※			/
試運転チェック			/
お客様への取扱説明			/

※総冷媒量、冷媒漏えい時最大濃度は室外ユニットに付属の「微燃性冷媒施工時チェックシート」に記載しています。（224・280 形のみ対象）

■ 定期点検整備契約のおすすめ

常に最良の運転状態を維持するためには、シーズン前後の点検整備が必要です。契約されるだけで需要家様に代わり専門家が設備全体を定期的に点検整備する「定期点検整備契約」への加入をお勧めいたします。「定期点検整備契約」の詳細については、お買い上げの販売店または、工事店にご相談ください。

契約会社	TEL（　　）		
契約日		担当者名	
点検日 1			
点検日 2			

■ 機器廃棄時の扱いについて

- この製品は「フロン排出抑制法」に定める「第一種特定製品」です。
- 廃棄またはリサイクルする場合、また移動･再設置するときに冷媒回収が必要な場合は、法に基づく冷媒の回収･運搬・破壊・書面管理を行ってください。
- 冷媒回収を実施した引取証明書が必要です。
- 冷媒未回収の機器は引渡し禁止です。

ご使用の回線（IP 電話やひかり電話など）によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。

●機器に関する使い方・お手入れなどのご相談・お問い合わせは･･･

空調・換気・給湯の相談窓口

電 話 フリーダイヤル **0120-870-199**
音声ガイダンスに従って商品を選択してください。
フリーダイヤルがご利用いただけない場合
050-3158-1222（有料）
※お電話をいただく際には、番号を十分にお確かめの上、おかけまちがいのないようにお願いいたします。

<営業時間> 24時間365日受付
<対応事務> 機器に関するご相談・お問い合わせ
FAX **050-3606-7370**

●修理に関するご相談は･･･

設備工事会社および設備販売代理店にてご購入されたお客様へ

パナソニック 空調修理ご相談窓口

電 話 フリーダイヤル **0120-087-956**（パナくうちょうこーる）
※携帯電話・PHSからもご利用になれます。

24時間 365日 受付

電気家電店および電気量販店にてご購入のお客様へ

パナソニック 修理ご相談窓口

電 話 フリーダイヤル **0120-878-554**（パナは イイヨ）
※携帯電話・PHSからもご利用になれます。

パナソニック株式会社　設備ソリューションズ事業部
〒 370-0596　群馬県邑楽郡大泉町坂田１丁目１番１号
© Panasonic Corporation 2024

Printed in Japan
ACXF55-38420
BE0124-0